

令和 4 年 8 月 24 日

J A 中野市園芸課

場所：JA 中野市営農センター2 階会議室

花き生産振興説明会資料

1. 開会

2. 内容

花き栽培暦	1 ページ
(1) シャクヤク	2 ページ
(2) コギク	3 ページ
(3) ナルコラン	4 ページ
(4) エレムルス	5 ページ
(5) トルコギキョウ	6 ページ



シャクヤク



コギク



ナルコラン



エレムルス



トルコギキョウ

3. 質疑応答

【お問い合わせ】

J A 中野市園芸課

住所：中野市金井 53-1

TEL：0269-23-3933

担当：久野 -080-6998-040

久保 080-6325-1639

花き栽培の特徴

1. きのこと果樹の合間に作業を行い、年間を通して数品目を組み合わせた出荷が可能です。
2. 予約販売を行っているため値段の上下が少なく価格が安定しています。
3. 出荷時期は物日やイベントに絡ませて販売しています。（母の日、お盆、年末等）
4. ハウス作型を取り入れて出荷期間を拡大し収益性向上を図ることもできます。
5. 新規栽培者の方でも導入しやすく栽培が容易な品目があります。

花き品目 出荷目安次期		出荷可能期間																								播種・定植		JA中野市園芸課							
区分	品目	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			主な品種
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
切り花	シャクヤク								ハウス作型	露地作型																									サラ・ベルナル、ユニバースター
	トルコギキョウ	定植													1月定植	2~3月定植	4月定植	5月定植	6月定植																パステルブルー、マキアライトP
	アスター									定植																									松本クリアスカーレット、パープル
	ソリダコ																																		-
	コギク																																		赤魚、さざなみ、いさむ
	アリウム																																		ギガンチウム
	ストック																																		カルテットホワイト、チェリー
	ケイトウ																																		かがやき、麗炎
	リアトリス																																		-
	エレムルス																																		イエロー、ピンク、ホワイト
	コスモス																																		ベルサイユ
	クジャクソウ																																		カトレヌ、マジョレーヌ
	ワレモコウ																																		かぐや姫、在来種
	スターチス																																		サンデーバイオレット
	ナルコラン																																		斑入りアマドコロ
	ハボタン																																		春の宴、初紅、フェザー系
	ベンケイソウ																																		-
	ヒマワリ																																		サンリッチオレンジ
ブプレウラム																																		グリフティ	
枝物	ヒペリカム																																	マジカルレッド、メイプルワイナリー	
	スノーボール																																	-	
	ツルウメモドキ																																	-	

(1) シャクヤク ボタン科

中野市のシャクヤクは生産量が日本一で、品質の高さと必ず咲くシャクヤクを目指し栽培しています。コロナの影響で、家庭消費が伸びていることから、ネット販売や量販店での販売が伸びており、平均単価も上がっています。



1. 特徴

- ・夏秋品目の前に春先の所得を得られる。
- ・ビニールハウスでの栽培で、出荷時期をずらし高単価販売。
- ・定植後は20~30年据え置きで栽培し、毎年の定植が無い。

2. 作業日程（露地作型）

月日	4月中旬	5月中旬	5月下旬	10~11月
作業内容	間引き	芽整理	収穫	定植（初年度） 刈払い（2年目以降）



10~11月：定植 → 1ヶ月前から土づくり
(↓5年目以降)

間引き：芽が出て20~30cmになったら本数整理する

芽整理：側蕾を整理し、頂点の蕾のみにする。

収穫、荷造り：畑で数本咲きだしたら収穫

→1品種につき約2週間前後の収穫期間

11月以降：台刈り 枯れ始めた茎を刈り取り処分

【作型別出荷時期】

加温ハウス	4月上旬~中旬
無加温ハウス	4月下旬~5月上旬
2条ハウス	5月上旬~5月中旬
露地作型	5月中旬~5月下旬

3. 収益性 露地作型（10a 当たり）

収益	経営費	所得	所得率
660,000	310,000	350,000	53%

収穫本数：11,000 単価：60円

栽培目安：1人/10a

(露地作型の場合)

4. その他

○新品種の導入

ボタンとシャクヤクのハイブリッド品種やアメリカ系品種と呼ばれる品種には、脇芽が出ないものもあり作業時間の省力化が可能。

○種苗導入について

100株単位で注文 種苗導入費の補助事業を行っている。約20%
※新品種はすでに在庫切れが多く、次年度の発注になる場合がある。



○ハウス作型の導入

ハウス被覆を行うことで生育が促進し、5月上旬の母の日に出荷ができ高単価での販売ができる。また、保温効果があるため春先の凍霜害対策となり所得アップと収量の安定化が狙える。

(2) 8月出荷用コギク キク科

名前の通り、量販店（スーパー）に向けて出荷に取り組んでいる。特に関西方面でコギクの需要が高く7月上旬から相対価格に沿って販売出荷している。



1. 特徴

- ・販売単価が時期で確定している。
- ・機械作業が多く省力的で取り組みやすい。
- ・果樹栽培との相性も良く、サブ品目としての導入も可能。

2. 作業日程

月日	4月末～ 5月上	6月上	7月 上～中	7月下～ 8月上	9月
作業内容	台刈り	土寄せ ネット張り	下葉とり	収穫	土づくり・定植

●定植：前年9月

秋に定植を行い、翌春の立ち本数を増加させる

●台刈り：4月末～5月上

立ち本数増加・開花調整をおこなうため、草刈り機で地際10cm残して切り揃える。

●土寄せ・ネット張り：6月上旬

追肥を行い管理機などで株元に土を寄せる。その後倒伏防止のため30cm×3マスフラワーネットを張る。

●収穫：7月下旬～8月上旬

収穫時期7月20～25日から開始。約3週間前後の収穫期間となるが、盆前を目途に収穫終了としたい。

3. 収益性（10a当たり）

収益	経営費	所得	所得率
840,000	390,000	450,000	54%

収穫本数：28,000本 単価：30円
栽培目安：3a/1人当たり

4. その他

○薬剤防除の徹底

荷造り作業時の時間を少なくするには、こまめな防除を行うことが肝心。

○量販店向けの品質を目指す

高単価の品目ではないため、ほどほどに良い品物を手早い作業で作って出荷を目標とする。

○苗代について

苗については管内の生産者圃場から、JA担当者が掘り取り配布します。品種はJA推奨品種の栽培をお願いしたい。



(3) ナルコラン 葉物 (アマドコロ) ユリ科

ナルコランは、薬用や鑑賞用として利用されており、栽培労力が少ない省力的品目であり、また葉を鑑賞するため収穫期に幅があり労力配分に余裕が持てます。

生理・生態

山野草であるため寒さには強いが暑さと乾きには弱い。晩秋に地上部が枯れ、地下茎は休眠します。この休眠は低温に遭遇することによって打破され、打破されるとまた生育し伸長していきます。

ナルコランは、強い日差しを受けると葉の色が抜けたような「白化症状」を起こすため、栽培の途中で遮光率 50%程度の寒冷紗を設置します。

栽培管理

○秋定植 **9~11月上旬** - 2年目株養成 - 3年目切葉

6年目以降株分け 2~3芽の株

床幅 90cm、通路 60cm、条間 30cm、株間 25cm 3条定植 覆土 3~4cm

○寒冷紗設置 **6月中旬**

幅 120cm、50%寒冷紗を 1mほどの高さで支柱に縛り付けて設置する。

○台刈り (残渣処理) **9月中旬**

2年目以降追肥: 春萌芽前施用 3要素成分 a 当たり 0.5kg

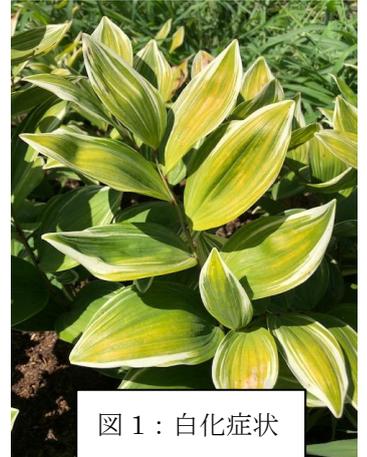


図 1: 白化症状

収穫

ナルコランは花ではなく、葉を鑑賞するため花が咲き終わり落花し、葉が笹のように硬化したものを収穫していきます。

収穫期間: 6月下旬~8月



所得目安 (3年目以降)

数量 45,000本 収益 1,800,000円 所得 900,000円 平均単価

栽培目安: 2~3a/1人当たり



寒冷紗設置により葉やけを防ぐ

●寒冷紗購入助成

J A補助事業により約 20%補助

●苗発注 発注時期: 9月中旬まで

予想価格 1箱 150株入り @18,000 (税込み)

定植数量 1aにつき 3箱分

●株の増殖

株の自家増殖が可能なので、1年間株養成期間を設け増殖させることも可能。

(4) エレムルス ツルボラン科

ホテルや生け花教室等で利用されることが多いエレムルスは、近年他産地での高齢化による出荷量減少に伴い販売単価が上がってきている品目である。栽培は容易で1度植えれば毎年6月頭ごろから咲き始める。開花後には地上部の葉が枯れ、翌年の春先まで萌芽せずに越冬する。

1. 特徴

- ・病害虫に強く、栽培は容易で管理作業は少ない
- ・3～5年は植えたままで良い
- ・空いている園地を有効活用するためのサブ品目として導入を検討する
- ・ハウス栽培も可能で、出荷期間の拡大も可能。

2. 作業日程

●定植：前年10月

土質は選ばないが、なるべく排水性の良い場所に植える。

●防草対策：4月

敷き藁等を被せ雑草の発生を抑えておく

●収穫：6月上旬

花穂の内2～5輪が開花したところに順次収穫を行っていく。荷造りが他の品目に比べ長さの調整と重さ（太さ）を選別するだけであるため簡単。



3. 収益性（10a当たり、3年目以降）

収益	経営費	所得	所得率
1,035,000	400,000	635,000	61%

収穫本数：15,000本 平均単価：69円
栽培目安：5a/1人当たり

4. その他

○秀品率維持のための改植

長い期間改植をしないで栽培を続けていると株が込み合い細い茎のものが多く所得率が減少するため、5年程度を目途に改植を行う。

○翌年から収穫可能

株の養成期間が無く、翌年から収穫は可能。秋に球根を掘り起こし、球根を分けて定植することで徐々に増やすことができる。



出荷時の様子

(5) トルコギキョウ リンドウ科 (ハウスが必要です)

生理・生態

育苗期に一定の低温に遭遇するか涼温下で経過するとその後の温度(高温)の影響を受けにくくなり、順調に開花し生育に至ります。

長日植物のため、高温、長日で開花が促進し、光合成速度は18~26℃付近で最も高い。

生育条件

水と光と温度を十分に必要とします。

温度…トルコギキョウの生育温度は、日中の気温が35℃以下、夜間は最低10℃以上の時に生育し、最も順調な生育温度は日中25℃以下で夜間15℃前後です。

高温時の管理

- ・花芽分化は、様々な環境条件に影響され、日長と温度、特に夜温に支配されます。
- ・夜温15℃以上の場合、ハウスを換気しなるべく涼しく管理します。
- ・出蕾後の頻繁な灌水は、花首の徒長と茎折れになるため様子を見ながら行います。

収益	経営費	所得	所得率
2,350,000	1,650,000	700,000	30%

7月出荷

収穫本数：23,500本 平均単価：100円
3a/1人あたり

栽培管理

定植 育苗した苗の定植 作業時間1a/約1日

灌水 草丈の伸長と花の大きさを左右するためトルコギキョウ栽培で最も重要。初期はたっぷり、後半は様子を見て涼しい朝方に灌水資材や動噴を使用し行う。そのため水利が近くにある場所が望ましい。



トルコギキョウ定植

枝整理・蕾整理 出荷時の規格に合わせるために無駄な枝の整理を行う。下部と上部の2ブロックに分けてそれぞれ生育に合わせて枝を落とす。

収穫前には余計な蕾を落として花を大きくする摘蕾の作業がある。遅れると花が小さくなりがちなので極力圃場で落としてボリューム感を出して「高品質」なトルコギキョウを出荷する。



圃場の様子



荷づくり



出荷形態

R3販売実績

	出荷数量	販売金額	平均単価
4月	244,270	37,673,773	149
シャクヤク	229,595	36,626,832	153
花 シャクヤク	13,770	959,341	71
枝物	725	71,400	98
ナナカマド	180	16,200	90
5月	1,034,975	98,653,473	92
シャクヤク	862,390	88,104,272	98
花 シャクヤク	122,810	6,398,014	52
アリウム	38,840	2,850,538	71
エレムルス	5,100	507,163	100
枝物 スノーボール	4,420	586,149	135
スターチス一年生	720	55,689	73
トルコギキョウ	695	151,648	222
6月	174,377	15,610,304	133
ソリダゴ・ソリダスタ	45,800	1,286,477	27
トルコギキョウ	43,375	7,428,776	191
シャクヤク	42,980	4,250,934	96
ナルコラン	13,010	385,854	31
アリウム	8,190	490,290	68
エレムルス	6,745	633,607	94
花 シャクヤク	6,130	307,952	51
スターチス一年生	4,250	294,269	65
枝物	2,055	259,560	120
リアトリス	1,120	35,005	31
スモークツリー	412	182,780	432
ユーホルビアフルゲン	310	54,800	176
7月	513,760	41,576,132	118
トルコギキョウ	212,740	30,539,547	146
コギク	182,500	6,184,705	33
ソリダゴ・ソリダスタ	44,960	1,155,114	27
アスター	42,290	2,555,808	60
ヒペリカム	15,400	687,416	44
ナルコラン	7,430	230,718	34
リアトリス	5,600	171,694	30
スターチス一年生	2,300	39,250	17
ヒマワリ	540	11,880	23
8月	550,895	32,932,170	77
アスター	252,165	14,840,418	59
コギク	125,400	3,838,494	30

	出荷数量	販売金額	平均単価
トルコギキョウ	83,650	11,332,470	138
ソリダゴ・ソリダスタ	77,020	2,386,476	32
ワレモコウ	5,000	213,700	47
ケイトウ	3,300	77,999	21
花 ベンケイソウ	1,780	64,906	35
クラスペディア	1,680	128,828	76
ヒペリカム	480	28,780	61
ナルコラン	420	20,100	50
9 月	173,470	7,237,754	59
枝物	45,860	1,326,516	29
クジャクソウ	33,500	1,448,892	45
コギク	21,050	772,008	37
コスモス	19,250	661,061	34
ケイトウ	15,460	559,988	36
ソリダゴ・ソリダスタ	14,600	503,282	35
トルコギキョウ	10,720	1,340,738	124
花 ベンケイソウ	7,830	265,129	35
クラスペディア	3,570	203,640	59
ワレモコウ	1,140	72,340	62
ツルウメモドキ	490	84,160	160
10 月	31,690	1,704,203	69
コギク	10,720	496,497	48
ソリダゴ・ソリダスタ	9,250	287,848	34
ワレモコウ	5,220	283,449	54
トルコギキョウ	3,920	408,430	106
ブプレウルム	2,380	224,980	92
ヒペリカム	200	3,000	15
11 月	9,091	675,055	86
ブプレウルム	4,100	448,448	107
花 ハボタン	2,291	133,507	63
ミズキ	1,350	40,500	30
ソリダゴ・ソリダスタ	1,250	44,500	36
ストック	100	8,100	81
12 月	21,285	1,227,445	57
花 ハボタン	17,275	891,485	52
ブプレウルム	2,250	229,601	98
ミズキ	1,000	24,400	25
ストック	760	81,960	110
総計	2,753,813	237,290,309	100

ワレモコウ バラ科

1. 特徴

- 宿根草であるため、定植後 5～6 年据え置きで栽培ができる。
- 秋冬品目の中でも管理作業が少ないが、防除を抜くと病害虫入りやすい。
- 収穫期が花き品目の中で比較的長く、収穫作業にゆとりがある。

2. 作業日程

定植：3月中旬～下旬

収穫：8月下旬～10月頃

3. 収益性（10a 当たり）

収益	経営費	所得	所得率
1,125,000	600,000	525,000	46%
項目	生産・出荷量	単価	収入金額
切り花販売	22,500	50	1,125,000



栽培目安：5a 収穫本数 10,000 本

5. その他

○病害虫

萌芽期からハマキムシ類、コガネムシ、カメムシ類、コウモリガ、ハダニ類の発生がある。また、うどんこ病、炭疽病の発生前の防除を梅雨時期から行う。

○倒伏防止

丈が伸びやすいため倒伏防止のために、フラワーネットと支柱を設置する。

強風が吹きやすい場所では、障壁作物（ソルゴー）を圃場の周りに植える等して対策をとる。

ケイトウ ヒユ科

1. 特徴

- 直播栽培なので、育苗期間が無い。
- 栽培期間は直播の場合 2 ヶ月で出荷が可能
- 収穫時に余裕がありマルチを使用するため除草が少なく省力的。
- 反別収量多く、圃場面積が少なくても収益が上がる



2. 作業日程

品目名	6月	7月	8月	9月
ケイトウ	○—○			■
作業	直播			収穫

播種：直播 6月下旬

播種床はマルチを張る前に十分に灌水を行い、播種後に乾燥させない。

マルチの 1 穴に 5 粒程播いたら培土で覆土し、発芽までは乾かさないように不織布等で覆う。

収穫：9月1日～9月末まで

花首が固まったら収穫開始。種が着くまでに収穫を行えばよい。

3. 収益性

収益	経営費	所得	所得率
1,575,000	819,000	956,000	48%
項目	生産・出荷量	単価	収入金額
切り花販売	45,000	35	1,575,000



栽培目安：3a 約 26,000 本

4. その他

吸肥力強いため残肥がある場合無施肥で良い。多いと茎が扁平し規格外となってしまう。

カリ不足の圃場では、花を大きくするためカリ肥料を施用する。

施用例) 1 a 当たり 塩化カリ 5kg

収穫前に葉色が淡くなる場合は、液肥や追肥で補う。(尿素 1,000 倍希釈液等)

→土壌分析を実施する。

(5) ハボタン アブラナ科

1. 特徴

- ・栽培にはハウス等の施設が安定した出荷のために必要。
- ・春夏の品目が終わったハウスで栽培が可能。
- ・耐寒性があり無加温でも栽培できるため、簡易雨よけハウス等でも栽培できる。
- ・密植栽培によって反別当たりの収益大きい。

2. 栽培日程

8月	9月	10月	11月	12月
----	----	-----	-----	-----



○ 播種 △ 葉かき ■ 収穫期

8月中下旬：播種 1穴2粒播種して密植に栽培

8月～10月：灌水 草丈を伸ばすために適宜灌水を行う

9月中旬頃～11月まで：下葉かき 合計3～4回、上部30cmを残すように成長したら適宜行う。

12月中旬：収穫



密植栽培



出荷時

3. 所得目安

収益	経営費	所得	所得率
2,860,000	1,658,800	1,201,200	42%
項目	生産・出荷量	単価	収入金額
切り花販売	44,000	65	2,860,000

栽培目安：5a 14,000本

4. その他

○防除

アブラナ科の品目であるため、イモムシ類の食害が多い。定期的に防除は実施する。

○色戻り

12℃以下の低温で葉色が変化する。その後高温管理や、肥料が残っていると葉色が緑に戻り商品価値が下がる。

(8) クジャクソウ (宿根アスター)

キク科アスター(シオン)属

現在では、園芸品種として交配され、花色花の大きさ等異なる品種が栽培されており、シロクジャクとミケルマステージーとの交配によって育成させた品種群の総称です。その中の代表種でその他の品種の親となっているシロクジャクは、北アメリカ原産といわれています。

繁殖が容易で、定植後も台刈り程度と省力的な品目です。

生理・生態 主としてシロクジャクについて

秋の開花後降霜期になると地上部が枯れて、地下部は短い吸枝を多くつけ、葉だけ展開してロゼット状となり、生育は停止します。冬の低温に遭遇した後、温度の上昇と長日条件で茎が伸長します。花芽の分化には短日が必要で自然状態では分化は8月上旬に始まり、9月中旬～10月上旬に開花します。このように茎の伸長は、長日で促進され、花芽分化、発達は短日で促進します。14時間日長で開花100%

栽培管理

秋定植(収穫後10～11/上) - 翌年9月中旬収穫

繁殖株分け

床幅80cm、通路60cm、条間45cm、株間30cm 2条千鳥定植

6月上旬台刈り

元肥: a 当たり 堆肥200～300kg 3要素各0.8kg pH6程度

追肥: 台刈後施用

収穫

5～6輪開花したものをから収穫します。9月中旬

所得目安

数量42,000本 収益1,890,000円 所得945,000円



マジョレーヌ